

ヤグチ電子工業(株)、インドで案件化調査

「オクルパッド」、弱視による社会的弱者の削減を目指す

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において、ヤグチ電子工業株式会社(宮城県石巻市、渡邊俊一代表取締役社長)が提案する「タブレット型視機能検査訓練装置による弱視の子どもたちの視力回復プロジェクト案件化調査」(インド)を採択しました。

インドでは視覚障害者が多く、国としてこれを対処すべき問題と捉え、政府方針を打ち出しています。弱視という障がいは、幼年期には教育・運動・生活が制限され、成人後には就労や子育てへの影響など、身体的のみならず社会的なハンディを負い、特に就労機会の喪失は貧困層の拡大につながる恐れがあります。弱視は幼年期に適切な視能訓練を行えば、回復可能ですが、インドでは十分な体制が整っていない状況です。

ヤグチ電子工業(株)は、産学・医工連携を通じ、タブレット型視覚訓練器「オクルパッド」を開発しました。本製品は、自社開発した「見えない液晶」(通称：ホワイトスクリーン)技術を採用、従来の弱視訓練特有の副作用がなく、視力回復が早い、更に、治療費を低減できることが特徴です。



オクルパッドによる弱視訓練の様子

本製品によって、高い訓練効果・早期回復が見込める治療方法をインドに展開することにより、弱視訓練の医療側の課題解決に貢献するとともに、患者側の身体的・心理的・経済的負担の少ない弱視治療が期待されます。

本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注) 案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。企業は、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を行う。2012 年度から実施されており、2017 年度第 1 回分は今年 3 月に公示を行い、36 件が採択。参考:(プレスリリース)案件化調査 2017 年度第 1 回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001yndld-att/investigation_170308_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東北 市民参加協力課 担当 上野

TEL 022-223-4772 e-mail : Uwano.Midori@jica.go.jp